



3次元CAD & モデリングコース

神奈川県立
西部総合職業技術校



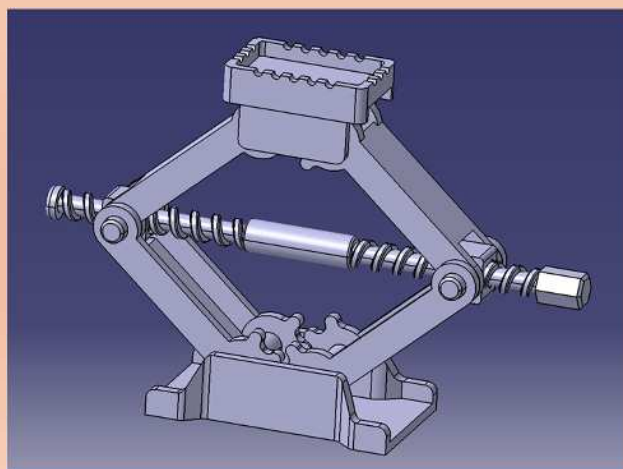
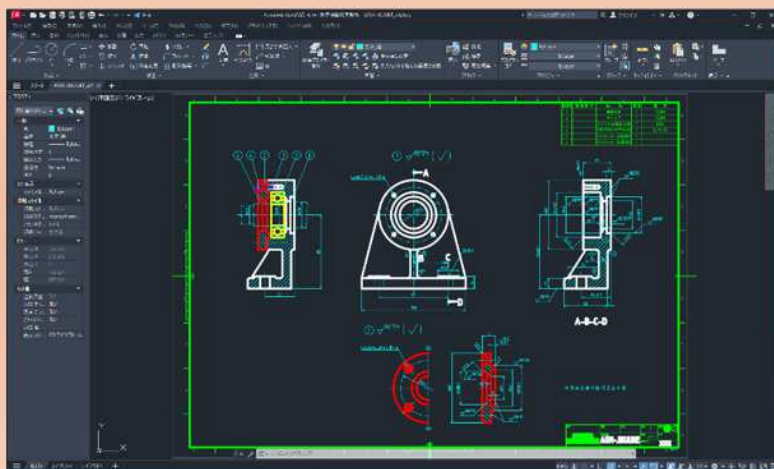
コース概要

- | | |
|--------|-------------------|
| • 対象者 | 主に若年者の方 |
| • 定員 | 20名 |
| • 訓練期間 | 1年 |
| • 入校時期 | 4月 |
| • 授業料 | 有料（年間授業料118,800円） |
| • 男女比 | 女性3割程 |
| • 平均年齢 | 36歳（令和8年度） |

コースの目標

「未経験から機械設計技術者へ。」

機械製図の基礎を身に付け、機械図面が確実に読めて作図できる技術を学びます。2次元・3次元CADを使って機械設計ができる技術者を目指します。さらに、3次元CGを授業に取り入れ、モデルデータのアニメーションやレンダリング技術を体験します。企業で実際に使用されているCADソフトを活用し、設計から組立、動作検証などの訓練を行います。



訓練内容（カリキュラム）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学科訓練 投影法・基礎製図 機械要素・材料・機械力学・機械設計法・公差解析・幾何公差・生産管理など											
実技訓練 概論・製図基礎演習 2次元CAD基礎実習 (AutoCAD) 3次元CAD基礎実習 (CATIA, Solidworks) 2次元CAD応用実習 (AutoCAD) 3次元CAD応用実習 (CATIA, SolidWorks) 3次元CG											
資格試験 2次元CAD利用技術者試験 (2級) 3次元CAD利用技術者試験 (2級) 2次元CAD利用技術者試験 (1級) 3次元CAD利用技術者試験 (1級) 技能検定 技能照査											
										修了課題 修了	

・充実した訓練機器



CAD室



3Dプリンター



加工室（実習はしない）



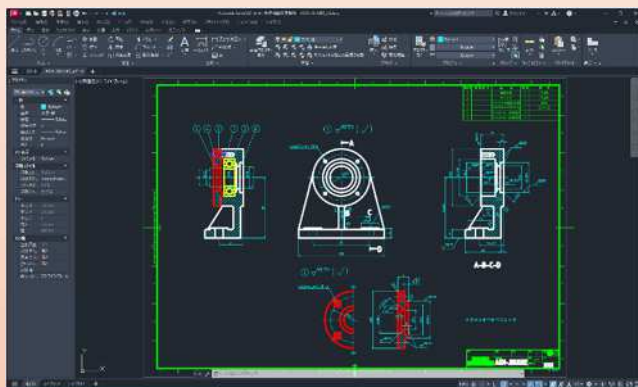
測定室

・使用する教科書 （年度により変更）

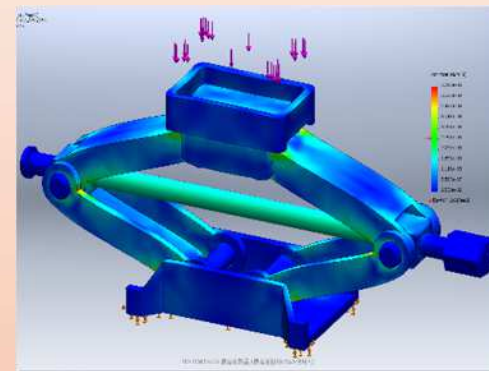
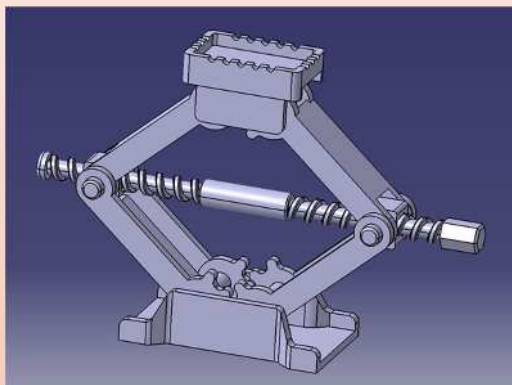


訓練の一部紹介①

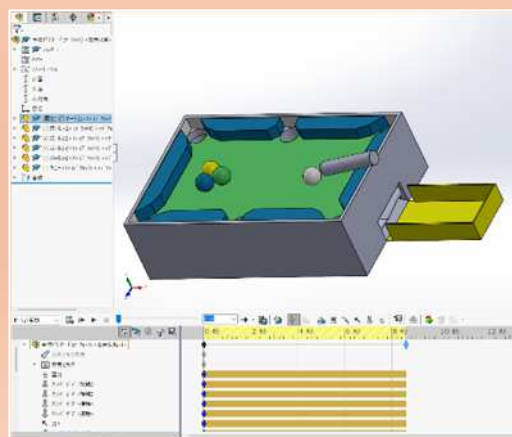
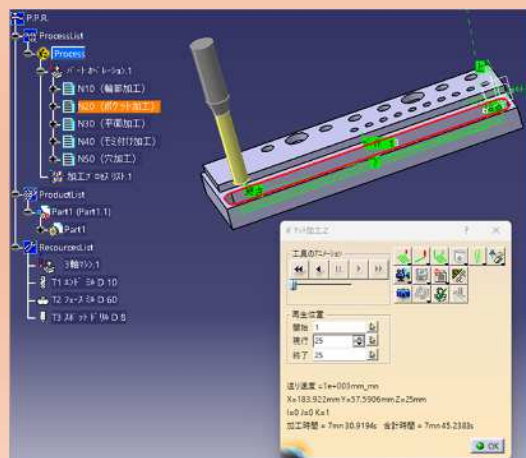
◆2次元CADによる機械図面作成
(ソフト: AutoCAD)



◆3次元CADによる部品作成・アセンブリ・図面作成
(ソフト: CATIA V5 / Solidworks)



◆3次元CADによるCAM・モーション解析
(ソフト: CATIA V5 / Solidworks)



◆3Dプリンターを活用したものづくり実習



訓練の一部紹介②

◆測定実習・幾何公差の解説

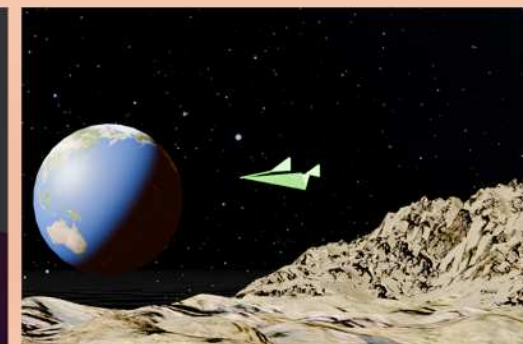


3次元測定機



硬さ試験機

◆3次元CGソフトによるアニメーション制作 (使用ソフト：Blender)



訓練費用

- 授業料 118,800円(年間)
- 入校検定料 2,200円
- 入校料 5,650円
- 教科書・作業服・工具 約19,000円
- 資格取得費用 約70,000円 (任意)
- 校外実習 (交通費) 実費

関連資格

◆修了時に取得できる資格

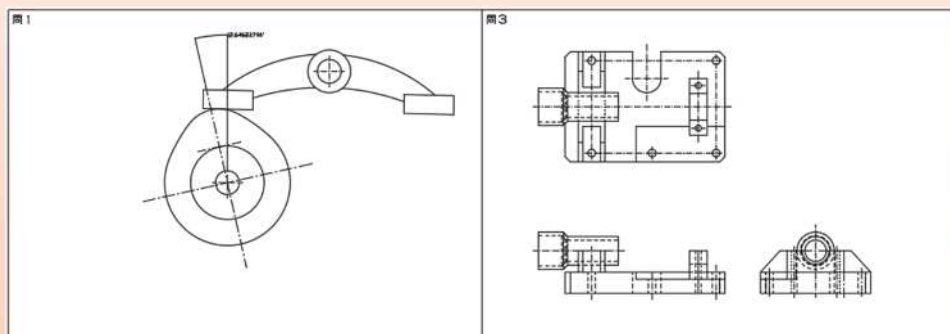
- 技能士補（2級技能検定学科試験免除）

◆授業でサポートしている資格

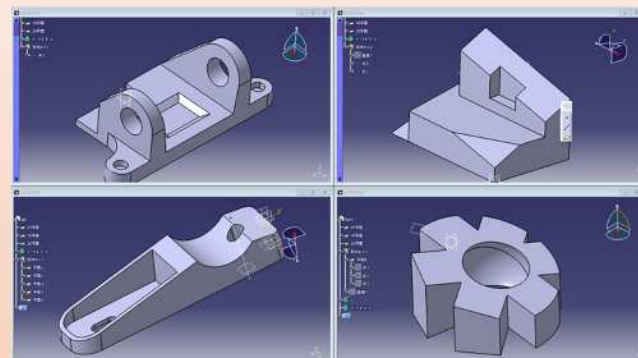
- 2次元CAD利用技術者試験（1級、2級）
- 3次元CAD利用技術者試験（準1級、2級）
- 技能士（機械・プラント製図職種）
- 技能士（テクニカルイラストレーション）

サポートしている資格

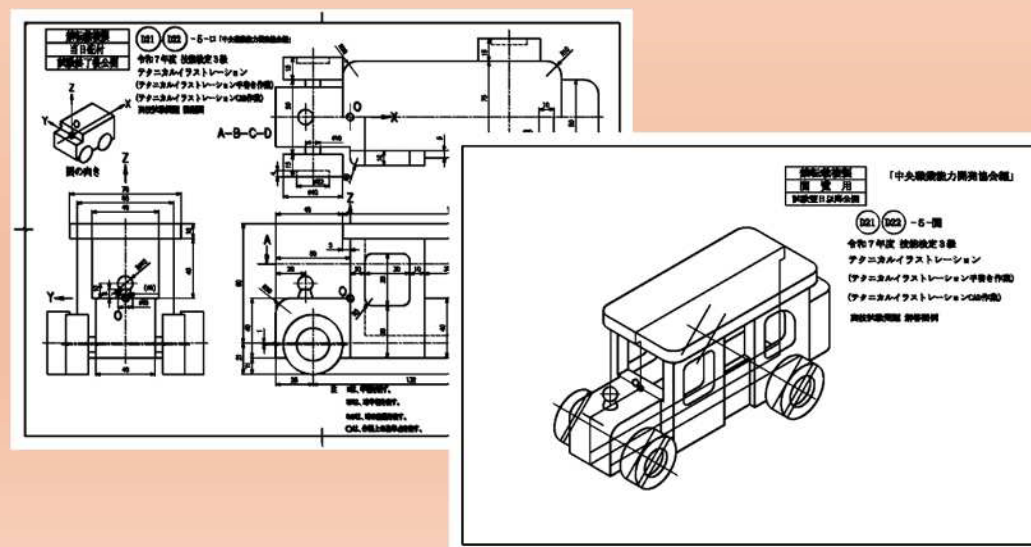
◆2次元CAD利用技術者試験（1級、2級）



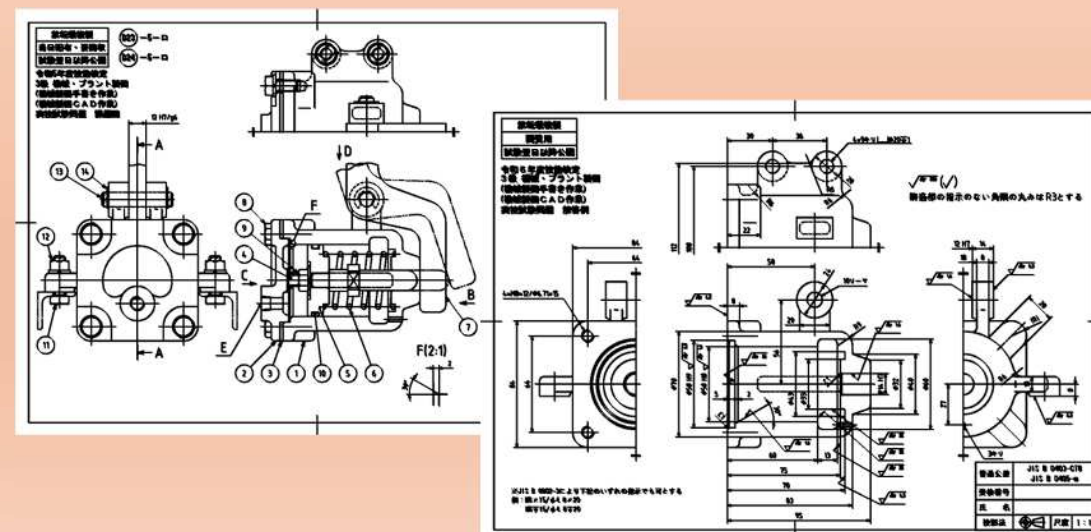
◆3次元CAD利用技術者試験（準1級、2級）



◆技能士（テクニカルイラストレーション職種）



◆技能士（機械・プラント製図職種）



就職関係

- 就職職種

機械設計業、一般機械機器製造業、輸送機器製造業 等

- 就職率

100%（R7年度）

設計職だけでなく、生産技術、品質管理、CADオペレーターなど幅広い職種への就職実績があります。

修了生の声 男性30歳①

●入校を考えたきっかけと入校を決めた理由

前職を辞め就職活動をしていた中、その選択肢を広げられると感じた。個人の判断だけでなく、訓練校内で他者の知見や経験を踏まえて今後を検討でき、前職で培ってきた技術校以外の強みも手に入れることで、より有利に進路を進められると考えたため。

修了生の声 男性30歳②

●訓練を受講してよかったこと

専門的に学んでこなかった設計分野について、限定されたソフトではなく多様なCADソフトの設計方法を学べるため実践的。就職先の専門性次第によるが機械設計分野についての知識・多種ソフトの操作経験は入社した教育初動の「そこから教えなければならぬのか」という会社側の負担の多くを回避できるため双方にとって利点大きい。資格取得の練習も集中して学ぶことができ、初めて3DCADに触る生徒であっても確かな設計経験を得られる。